

事務事業 No./名 称	■サービス部門 □支 援 部 門 まちー03 都市計画運営事務									
主管課	都市計画課				関連課					
分野名	市街地整備									
目標 (目標値)	まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランから)を目指す。									
人口等のデータ	データ区分	25年度		24年度		23年度		備 考		
	人 口	177,895人		177,224人		177,204人		・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	80,295世帯		79,669世帯		79,217世帯				
	事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	5,111		7,776		22,921				
	(国・県)					4,825				
	(負担金等)									
	(一般財源)	5,111		7,776		18,096				
	人員配置数	4.9人		6.0人		6.0人				
	人 件 費(千円)	39,585		49,833		53,453				
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	44,696		57,609		76,374				
	市民1人当りの経費(円)	251		325		431				
	対象者1人当りの経費(円)									
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒									
指 標		評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)		
都市マスタープラン見直し作業の 達成率(%)		○	目標値	100	100	100	100	100		
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			実績値	60.0%	60.0%	70.0%	80.0%			

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止						
都市計画運営事務	5,111	都市計画運営事務	58,720	今後の 方向性	B	理由 ・手法	概ね5年ごとに見直しを行う業務が集中するため。			
				今後の 方向性		理由 ・手法				
				今後の 方向性		理由 ・手法				
				今後の 方向性		理由 ・手法				
				今後の 方向性		理由 ・手法				

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	・都市マスタープラン見直し作業の実施に向け、協働して検討を行うための体制づくりや、事業の達成状況等を評価するための準備作業が課題である。 ・「都市計画道路見直し方針」の確定後、廃止及び変更する対象路線の都市計画変更手続に時間を要していることが課題である。													
課題解決のための取組	・都市マスタープラン見直しの検討体制として、市民及び関係機関(NPO団体を含む。)で構成する協議会、都市マスタープランに関連する関係課長等で構成する幹事会及び都市計画審議会(の学識経験者委員)で構成するワーキング部会を設置し、評価作業の準備、基礎資料の作成、検討組織の運営等の取組を行った。 ・対象路線の都市計画変更手続に向け、関係機関との事前相談を開始した。							取組の結果	□解 決 ■未解決					
未解決の課題	・都市計画道路の見直しについて、関係機関との協議が未解決の課題となっている。													
中事業の評価	適切＝○要改善＝△(2面「評価の視点」を参照)				➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	・都市マスタープラン見直し作業に当たっては、平成25年度、26年度の2年間で債務負担行為を設定しており、引き続き事業の達成状況等についての評価作業を行い、「白書2011」での評価・検討結果から得た、課題の整理や都市空間の脆弱性に関する新たな課題等への対応について検討し、これまでの社会情勢等の変化に柔軟に対応できるよう必要に応じた見直しを行う。 ・具体的には、見直し作業の実施に当たって、市民及び関係機関を始め、専門的な意見の把握に努めながら取組を行っていく。 ・都市計画道路見直しについては、関係機関協議の早期終了を目指し、スケジュール管理を綿密に行い、都市計画変更手続を開始していく。										A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		➡	B
※□事業完了														

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
都市計画 運営事務	都市計画審議会の運営、都市計画決定等業務、都市計画関連情報の更新、都市計画図等の印刷業務及び都市マスタープランの見直し業務等				○	○	○	○	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
		281	都市計画審議会委員報酬 16人	578	266	○	○	○	○
		281	事務補助嘱託員報酬 1人	1,029	1,028	○	○	○	○
		281	事務補助嘱託員費用弁償(通勤分)	121	87	○	○	○	○
		281	消耗品費	429	429	○	○	○	○
		281	都市計画図等印刷製本費	2,531	1,995	△	○	○	○
		281	都市計画決定図書等印刷製本費	320	319	○	○	○	○
		281	鎌倉市都市計画関連データ等修正業務委託料	819	536	○	○	○	○
		281	鎌倉市都市計画業務支援システム保守業務委託料	441	441	○	○	○	○
※□ 事業完了	281	県都市計画実務担当者連絡協議会負担金	10	10	○	○	○	○	

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									